

事業番号	03 09 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	公文書適正管理事業費	部局	総務部	課・室	情報公開・法務課
		実施期間	R2 ~	E-mail	kokai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策					

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 公文書の適正な管理及び歴史公文書の適切な保存及び利用を図り、県の諸活動を現在及び将来の県民に説明する責務を全うする。 公文書を作成する県職員の文書力を向上させる。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県公文書等の管理に関する条例」の制定 公文書審議会の運営 文書作成指導力向上のための職員研修の実施 新たな文書管理システムの構築 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県公文書等の管理に関する条例」その他関連規程に基づいた公文書等の適正な管理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公文書の廃棄、特定歴史公文書の利用決定等の妥当性を客観的に審査する公文書審議会を継続して運営する。 適正な公文書の管理を推進するにあたり、県職員の公文書に関する知識、文書力等を向上させるための研修会を実施するとともに、新たな文書管理システムを安定して稼働させるために、適正な運用を行う。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ✓「長野県公文書等の管理に関する条例」その他関連規程に基づき公文書等の適正な管理を行うことのできる体制の整備 公文書審議会の運営 公文書審議会を継続して運営し、公文書を廃棄する際の調査審議を行うとともに、特定歴史公文書の利用決定等に対する審査請求について、当該決定等の妥当性を審査する。 職員研修の実施 県職員の公文書に関する知識、文書力等の向上のための研修会を実施する。 公文書管理システムの運用 条例に沿った文書管理を行うため、公文書管理システムを運用する。 また、Webブラウザのサポート終了に伴い、後継のWebブラウザに対応するための改修を実施する。 	 <p>(公文書審議会)</p>
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	

指標の状況及び目標値 [ノ:改善、ハ:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度		R3年度		R4年度	
1									前年度繰越				要求	23,071
2									当初予算	1,454	124,946		予算案	-
3									補正予算	-129	0			
4									合計(A)	1,325	124,946		要求	23,071
5									うち一般財源	1,325	124,946		予算案	-
									決算額(B)	610				
									職員数(人)	1.5	1.5			1.5
設定理由	成果指標													
	目標値													

事業番号	03 09 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)			<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	公文書適正管理事業費			部局	総務部	課・室	情報公開・法務課	

細事業 No.	細事業名			R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	文書事務費			1,454 千円	124,946 千円	要求 予算案	23,071 -
				千円			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)				
1	公文書審議会の運営	直接	公文書審議会を継続して運営し、公文書を廃棄する際の調査審議を行うとともに、特定歴史公文書の利用決定等に対する審査請求について、当該決定等の妥当性を審査する。				
2	職員研修の実施	直接 委託	県職員の公文書に関する知識、文書力等をさらに向上させるための研修を実施する。				
3	公文書管理システムの運用	委託	公文書管理システムを運用するとともに、後継のWebブラウザに対応するための改修を実施する。				